

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施。）。

期日 平成22年4月1日から6月30日までの間に実施された、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査。

3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区分	調査実施学校（園）数	児童等総数	発育状態調査		健康状態調査	
			調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼稚園	30	3,469	954	27.5	1,153	33.2
小学校	59	74,754	5,423	7.3	23,047	30.8
中学校	39	41,203	4,403	10.7	15,279	37.1
高等学校	28	41,663	2,436	5.9	17,637	42.4
計	156	161,089	13,216	8.2	57,152	35.5

注1：発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2：児童等総数は平成22年度学校基本調査結果速報（青森県分）による。

注3：幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみ的人数である。

4 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長、体重及び座高）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

《利用上の注意》

(1) この速報は、文部科学省がまとめた「平成22年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成22年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。

(2) 年齢は、平成22年4月1日現在の満年齢である。

(3) 統計表の中の記号

「－」 該当者がいない場合

「…」 調査対象とならなかった場合

「0.00」 計数が単位未満の場合

(4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

A 発育状態

1 身長

男子は全年齢で、女子は16歳、17歳を除く各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では11歳の1.7cm、女子では10歳の1.6cmとなっている。

- ① 男子の8歳及び女子の6歳の数値は、青森県のこれまでの最高値となっている。
- ② 女子は6歳、11歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の7.5cmとなっている。
女子は、9歳から10歳時の7.0cmとなっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)								
		青森県での調査人数	平成22年度(青森県) A	平成21年度(青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成22年度(全国) C	差 A-C	本県順位	
男	幼稚園	5歳	476	111.1	111.7	-0.6	-	110.7	0.4	7
		6歳	455	117.3	117.2	0.1	5.6	116.7	0.6	2
	小学校	7歳	455	123.7	123.7	0.0	6.5	122.5	1.2	2
		8歳	444	<u>129.6</u>	129.2	0.4	5.9	128.2	1.4	2
		9歳	450	134.3	134.3	0.0	5.1	133.5	0.8	5
		10歳	454	139.9	140.1	-0.2	5.6	138.8	1.1	4
		11歳	451	146.7	146.4	0.3	6.6	145.0	1.7	2
	中学校	12歳	734	153.9	154.1	-0.2	7.5	152.4	1.5	2
		13歳	746	161.3	161.1	0.2	7.2	159.7	1.6	2
		14歳	731	166.0	166.6	-0.6	4.9	165.1	0.9	3
	高等学校	15歳	401	169.4	169.1	0.3	2.8	168.2	1.2	2
16歳		401	170.8	169.6	1.2	1.7	169.9	0.9	3	
17歳		394	171.3	171.7	-0.4	1.7	170.7	0.6	6	
女	幼稚園	5歳	478	110.0	110.6	-0.6	-	109.8	0.2	11
		6歳	450	<u>117.3</u>	116.7	0.6	6.7	115.8	1.5	1
	小学校	7歳	449	122.7	122.1	0.6	6.0	121.7	1.0	2
		8歳	454	128.4	128.7	-0.3	6.3	127.4	1.0	5
		9歳	455	134.1	134.8	-0.7	5.4	133.5	0.6	4
		10歳	451	141.8	141.7	0.1	7.0	140.2	1.6	2
		11歳	455	147.9	148.6	-0.7	6.2	146.8	1.1	1
	中学校	12歳	724	152.7	152.8	-0.1	4.1	151.9	0.8	2
		13歳	722	155.6	155.3	0.3	2.8	155.0	0.6	4
		14歳	746	156.8	156.9	-0.1	1.5	156.5	0.3	11
	高等学校	15歳	415	157.3	157.1	0.2	0.4	157.1	0.2	13
16歳		415	157.6	159.6	-2.0	0.5	157.7	-0.1	23	
17歳		410	157.9	158.2	-0.3	-1.7	158.0	-0.1	22	

- (注): 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。(過去最高値と同数の場合も含む。)
 2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.6cmは、146.7cm(22年度の11歳の数値) - 140.1cm(21年度の10歳の数値)で求められる。

2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では16歳の3.9kg、女子では10歳の2.2kgとなっている。

- ① 男子は13歳、14歳、15歳、16歳、女子は6歳、10歳、11歳、12歳、13歳、14歳で全国第1位となっている。
- ② 最大の年間発育量は、男子は12歳から13歳時の6.4kgとなっている。
女子は、10歳から11歳時の5.5kgとなっている。

表2 体重の平均値

区 分	年齢	体 重 (kg)								
		青森県 での調 査人数	平成22年度 (青森県) A	平成21年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成22年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	476	19.4	20.0	-0.6	-	19.0	0.4	4
		6歳	455	22.2	22.1	0.1	2.2	21.4	0.8	2
	小学校	7歳	455	25.1	25.4	-0.3	3.0	24.0	1.1	2
		8歳	444	28.9	28.9	0.0	3.5	27.2	1.7	2
		9歳	450	32.0	32.3	-0.3	3.1	30.5	1.5	2
		10歳	454	35.5	35.9	-0.4	3.2	34.1	1.4	6
		11歳	451	40.3	40.5	-0.2	4.4	38.4	1.9	3
	中学校	12歳	734	46.7	46.3	0.4	6.2	44.1	2.6	3
		13歳	746	52.7	52.3	0.4	6.4	49.2	3.5	1
		14歳	731	56.5	57.7	-1.2	4.2	54.4	2.1	1
	高等学校	15歳	401	62.4	62.9	-0.5	4.7	59.5	2.9	1
		16歳	401	65.4	63.0	2.4	2.5	61.5	3.9	1
		17歳	394	65.5	65.7	-0.2	2.5	63.1	2.4	2
	女	幼稚園	5歳	478	19.0	19.3	-0.3	-	18.6	0.4
6歳			450	22.5	21.9	0.6	3.2	21.0	1.5	1
小学校		7歳	449	24.3	24.1	0.2	2.4	23.5	0.8	2
		8歳	454	27.6	28.2	-0.6	3.5	26.5	1.1	3
		9歳	455	30.8	31.5	-0.7	2.6	30.0	0.8	4
		10歳	451	36.3	35.6	0.7	4.8	34.1	2.2	1
		11歳	455	41.1	41.3	-0.2	5.5	39.0	2.1	1
中学校		12歳	724	45.5	45.9	-0.4	4.2	43.8	1.7	1
		13歳	722	49.1	49.4	-0.3	3.2	47.3	1.8	1
		14歳	746	52.0	51.8	0.2	2.6	50.0	2.0	1
高等学校		15歳	415	52.5	52.3	0.2	0.7	51.6	0.9	6
		16歳	415	53.8	56.2	-2.4	1.5	52.7	1.1	3
		17歳	410	53.8	53.7	0.1	-2.4	52.9	0.9	5

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の4.4kgは、
40.3kg(22年度の11歳の数値) - 35.9kg(21年度の10歳の数値) で求められる。

3 座 高

男子は全年齢で、女子は16歳を除く各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では8歳及び13歳の1.0cm、女子では6歳の0.9cmとなっている。

- ① 男子の8歳及び13歳、女子の6歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は8歳、女子は6歳、11歳で全国第1位となっている。
- ③ 年間発育量が最大なのは、男子は11歳から12歳時の3.8cmとなっている。
女子は、5歳から6歳時の3.5cmとなっている。

表3 座高の平均値

区 分	年 齢	座 高 (cm)								
		青森県 での調 査人数	平成22年度 (青森県) A	平成21年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成22年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	319	62.1	62.6	-0.5	-	61.9	0.2	12
		6歳	455	65.2	65.1	0.1	2.6	64.9	0.3	4
	小学校	7歳	455	68.4	68.3	0.1	3.3	67.6	0.8	2
		8歳	444	<u>71.3</u>	70.9	0.4	3.0	70.3	1.0	1
		9歳	450	73.0	73.0	0.0	2.1	72.7	0.3	4
		10歳	454	75.3	75.5	-0.2	2.3	74.9	0.4	7
		11歳	451	78.4	78.4	0.0	2.9	77.6	0.8	3
	中学校	12歳	734	82.2	82.3	-0.1	3.8	81.3	0.9	2
		13歳	746	<u>86.0</u>	85.8	0.2	3.7	85.0	1.0	2
		14歳	731	88.6	89.1	-0.5	2.8	88.1	0.5	4
	高等学校	15歳	401	90.8	91.1	-0.3	1.7	90.3	0.5	2
		16歳	401	91.8	91.2	0.6	0.7	91.3	0.5	3
		17歳	394	91.9	92.2	-0.3	0.7	91.9	0.0	19
女	幼稚園	5歳	314	61.7	61.9	-0.2	-	61.5	0.2	11
		6歳	450	<u>65.4</u>	64.8	0.6	3.5	64.5	0.9	1
	小学校	7歳	449	67.8	67.3	0.5	3.0	67.3	0.5	3
		8歳	454	70.6	70.6	0.0	3.3	70.0	0.6	2
		9歳	455	73.1	73.2	-0.1	2.5	72.7	0.4	4
		10歳	451	76.6	76.7	-0.1	3.4	75.9	0.7	2
		11歳	455	80.0	80.1	-0.1	3.3	79.2	0.8	1
	中学校	12歳	724	82.7	82.9	-0.2	2.6	82.1	0.6	3
		13歳	722	84.2	84.3	-0.1	1.3	83.8	0.4	2
		14歳	746	85.1	85.1	0.0	0.8	84.8	0.3	6
	高等学校	15歳	415	85.7	85.8	-0.1	0.6	85.3	0.4	7
		16歳	415	85.5	86.5	-1.0	-0.3	85.6	-0.1	29
		17歳	410	85.9	86.0	-0.1	-0.6	85.8	0.1	14

- (注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。(過去最高値と同数の場合も含む。)
2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の2.9cmは、78.4cm(22年度の11歳の数値) - 75.5cm(21年度の10歳の数値)で求められる。

4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和55年度と比較すると、男女ともに5歳の座高が0.1cm低くなっており、女子の15歳の体重が0.2kg減っている。それ以外の各項目においては男女とも全ての年齢で親世代より数値が上がっている。

① 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は13歳で3.9cm親の世代より高い。
また、女子では10歳で3.1cm親の世代より高い。

② 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は13歳で5.0kg親の世代より重い。
また、女子では10歳で2.7kg親の世代より重い。

③ 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は13歳で2.7cm親の世代より高い。
また、女子では10歳で1.6cm親の世代より高い。

表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)			
		平成22年度 A	昭和55年度 B	差 A-B	平成22年度 C	昭和55年度 D	差 C-D	平成22年度 E	昭和55年度 F	差 E-F	
男	幼稚園	5歳	111.1	110.4	0.7	19.4	19.2	0.2	62.1	62.2	-0.1
	小学校	6歳	117.3	116.2	1.1	22.2	21.0	1.2	65.2	64.9	0.3
		7歳	123.7	121.8	1.9	25.1	23.6	1.5	68.4	67.5	0.9
		8歳	129.6	128.1	1.5	28.9	27.0	1.9	71.3	70.5	0.8
		9歳	134.3	132.4	1.9	32.0	29.5	2.5	73.0	72.0	1.0
		10歳	139.9	138.0	1.9	35.5	33.5	2.0	75.3	74.4	0.9
		11歳	146.7	143.8	2.9	40.3	37.3	3.0	78.4	76.9	1.5
	中学校	12歳	153.9	150.3	3.6	46.7	42.4	4.3	82.2	79.9	2.3
		13歳	161.3	157.4	3.9	52.7	47.7	5.0	86.0	83.3	2.7
		14歳	166.0	164.2	1.8	56.5	53.8	2.7	88.6	86.9	1.7
	高等学校	15歳	169.4	168.0	1.4	62.4	58.7	3.7	90.8	89.9	0.9
		16歳	170.8	169.5	1.3	65.4	60.8	4.6	91.8	90.6	1.2
		17歳	171.3	169.6	1.7	65.5	61.0	4.5	91.9	90.4	1.5
女	幼稚園	5歳	110.0	109.8	0.2	19.0	19.0	0.0	61.7	61.8	-0.1
	小学校	6歳	117.3	115.3	2.0	22.5	20.8	1.7	65.4	64.5	0.9
		7歳	122.7	120.9	1.8	24.3	23.0	1.3	67.8	67.1	0.7
		8歳	128.4	127.0	1.4	27.6	26.2	1.4	70.6	69.7	0.9
		9歳	134.1	132.2	1.9	30.8	28.9	1.9	73.1	72.1	1.0
		10歳	141.8	138.7	3.1	36.3	33.6	2.7	76.6	75.0	1.6
		11歳	147.9	145.8	2.1	41.1	38.6	2.5	80.0	78.5	1.5
	中学校	12歳	152.7	150.9	1.8	45.5	43.2	2.3	82.7	81.3	1.4
		13歳	155.6	154.2	1.4	49.1	47.2	1.9	84.2	83.2	1.0
		14歳	156.8	155.8	1.0	52.0	50.4	1.6	85.1	84.1	1.0
	高等学校	15歳	157.3	156.2	1.1	52.5	52.7	-0.2	85.7	84.9	0.8
		16歳	157.6	156.8	0.8	53.8	53.3	0.5	85.5	85.0	0.5
		17歳	157.9	156.7	1.2	53.8	52.9	0.9	85.9	84.7	1.2

図1 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

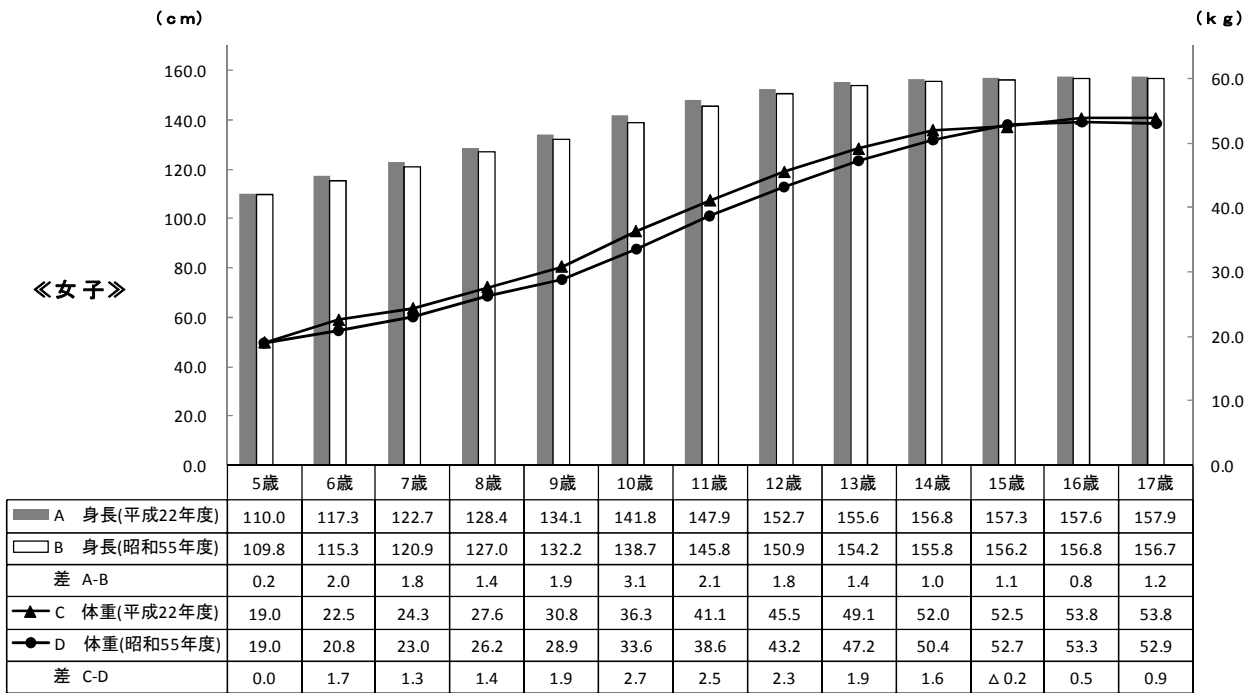
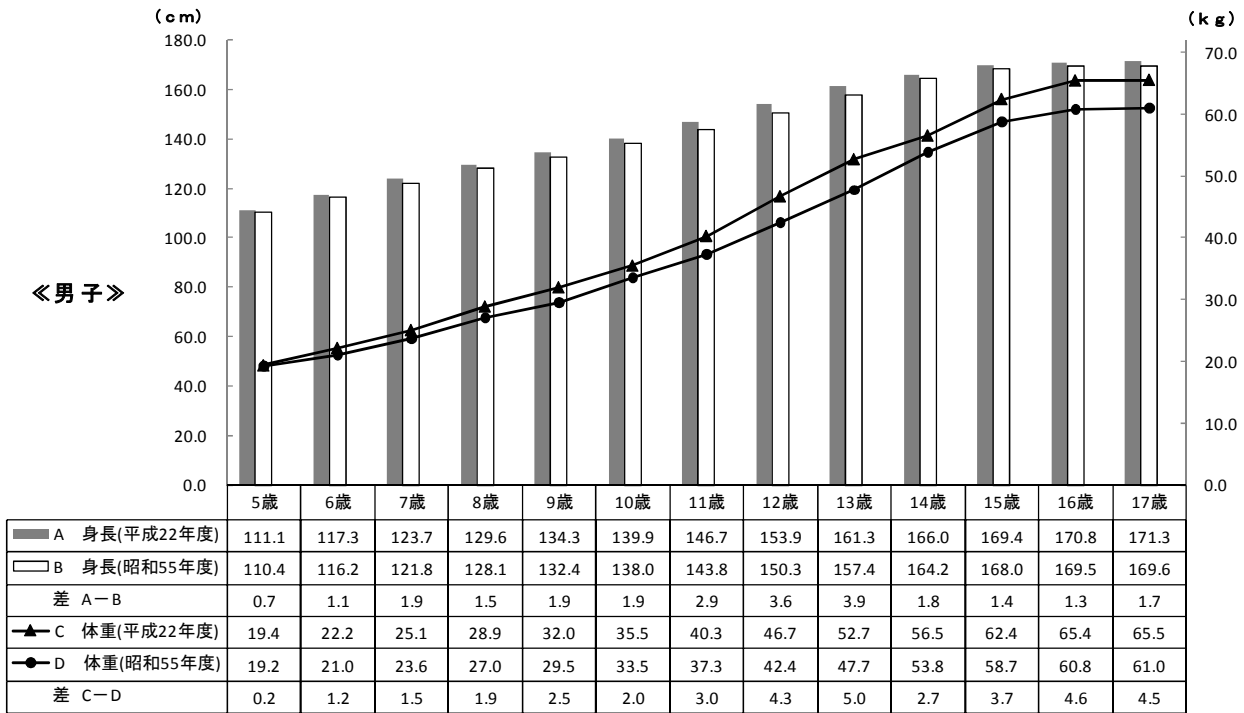


表5 身長に占める足の長さの割合

(単位：%)

区分	幼稚園	小学校						中学校				高等学校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成22年度 A	44.1	44.4	44.7	45.0	45.6	46.2	46.6	46.6	46.7	46.6	46.4	46.3	46.4
	昭和55年度 B	43.7	44.1	44.6	45.0	45.6	46.1	46.5	46.8	47.1	47.1	46.5	46.5	46.7
	差(A-B)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	-0.2	-0.4	-0.5	-0.1	-0.2	-0.3
女	平成22年度 C	43.9	44.2	44.7	45.0	45.5	46.0	45.9	45.8	45.9	45.7	45.5	45.7	45.6
	昭和55年度 D	43.7	44.1	44.5	45.1	45.5	45.9	46.2	46.1	46.0	46.0	45.6	45.8	45.9
	差(C-D)	0.2	0.1	0.2	-0.1	0.0	0.1	-0.3	-0.3	-0.1	-0.3	-0.1	-0.1	-0.3

注：股下÷身長×100＝身長に占める足の長さの割合（四捨五入を行っている）

5 高等学校3年生の12年間の発育量

高等学校3年生（17歳）の幼稚園入園時（平成10年度に5歳）から12年間の発育量は、男子の身長が60.2cm、体重が45.7kg、女子の身長が47.2cm、体重が34.2kgとなっている。

- ① 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で小学校6年生から中学校1年生の間（7.5cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（6.9kg）となっており、女子は身長で小学校5年生から6年生の間（7.0cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（5.8kg）となっている。
- ② 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、男子の身長は1歳早く、男子の体重は2歳早く、女子の身長は1歳遅く、女子の体重は同時期にピークを迎えている。

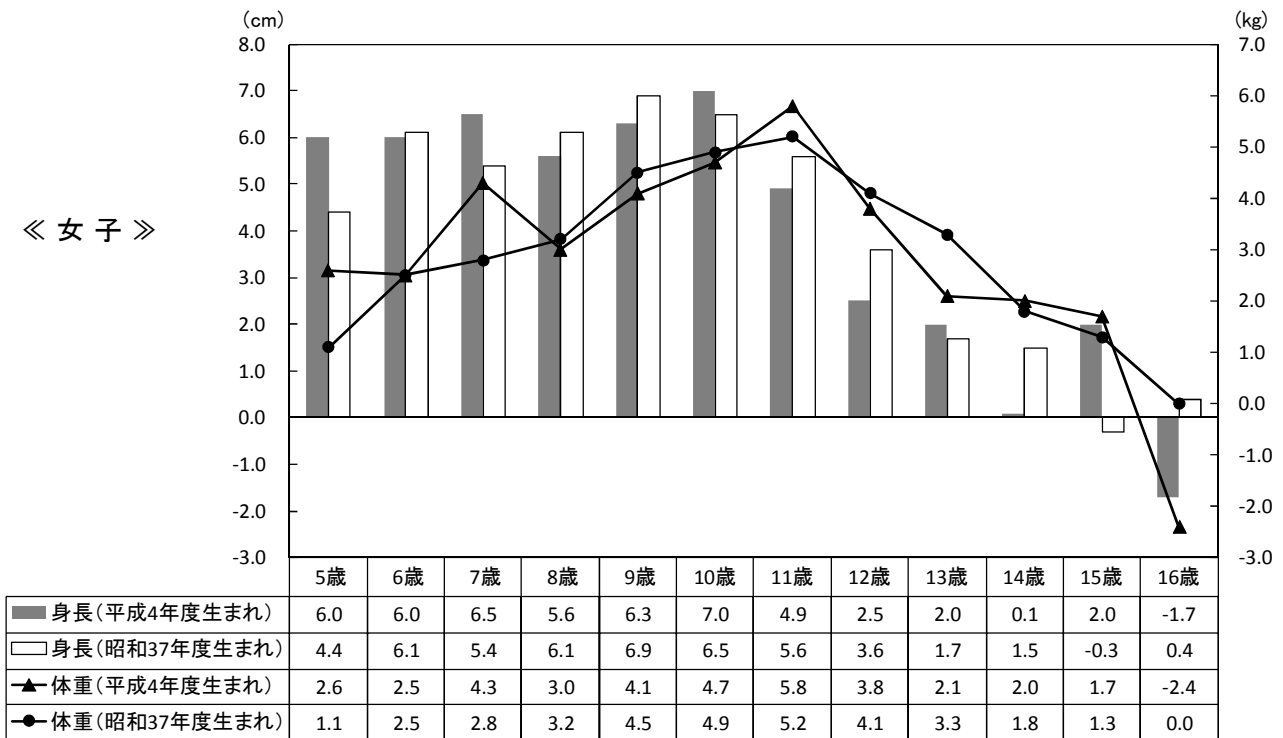
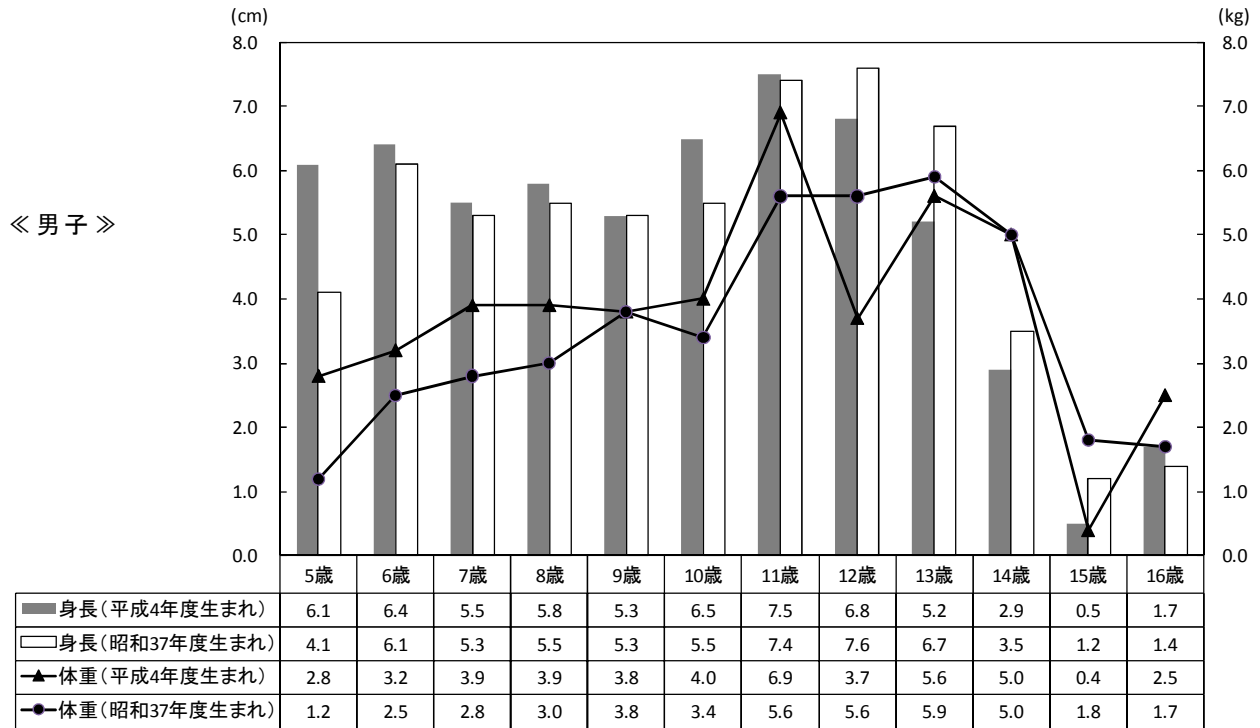
表6 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）

－ 平成4年度生まれ（平成22年4月時点17歳）と昭和37年度生まれ（昭和55年4月時点17歳）の比較 －

区分	当時	身長（cm）				体重（kg）				
		平成4年度 生まれ	年 間 発育量	昭和37年度 生まれ	年 間 発育量	平成4年度 生まれ	年 間 発育量	昭和37年度 生まれ	年 間 発育量	
男	幼稚園	5歳	111.1	6.1	110.0	4.1	19.8	2.8	18.7	1.2
	小学校	6歳	117.2	6.4	114.1	6.1	22.6	3.2	19.9	2.5
		7歳	123.6	5.5	120.2	5.3	25.8	3.9	22.4	2.8
		8歳	129.1	5.8	125.5	5.5	29.7	3.9	25.2	3.0
		9歳	134.9	5.3	131.0	5.3	33.6	3.8	28.2	3.8
		10歳	140.2	6.5	136.3	5.5	37.4	4.0	32.0	3.4
		11歳	146.7	<u>7.5</u>	141.8	7.4	41.4	<u>6.9</u>	35.4	5.6
	中学校	12歳	154.2	6.8	149.2	<u>7.6</u>	48.3	3.7	41.0	5.6
		13歳	161.0	5.2	156.8	6.7	52.0	5.6	46.6	<u>5.9</u>
		14歳	166.2	2.9	163.5	3.5	57.6	5.0	52.5	5.0
	高等学校	15歳	169.1	0.5	167.0	1.2	62.6	0.4	57.5	1.8
		16歳	169.6	1.7	168.2	1.4	63.0	2.5	59.3	1.7
		17歳	171.3		169.6		65.5		61.0	
	12年間の発育量			60.2		59.6		45.7		42.3
女	幼稚園	5歳	110.7	6.0	108.8	4.4	19.6	2.6	18.2	1.1
	小学校	6歳	116.7	6.0	113.2	6.1	22.2	2.5	19.3	2.5
		7歳	122.7	6.5	119.3	5.4	24.7	4.3	21.8	2.8
		8歳	129.2	5.6	124.7	6.1	29.0	3.0	24.6	3.2
		9歳	134.8	6.3	130.8	<u>6.9</u>	32.0	4.1	27.8	4.5
		10歳	141.1	<u>7.0</u>	137.7	6.5	36.1	4.7	32.3	4.9
		11歳	148.1	4.9	144.2	5.6	40.8	<u>5.8</u>	37.2	<u>5.2</u>
	中学校	12歳	153.0	2.5	149.8	3.6	46.6	3.8	42.4	4.1
		13歳	155.5	2.0	153.4	1.7	50.4	2.1	46.5	3.3
		14歳	157.5	0.1	155.1	1.5	52.5	2.0	49.8	1.8
	高等学校	15歳	157.6	2.0	156.6	-0.3	54.5	1.7	51.6	1.3
		16歳	159.6	-1.7	156.3	0.4	56.2	-2.4	52.9	0.0
		17歳	157.9		156.7		53.8		52.9	
	12年間の発育量			47.2		47.9		34.2		34.7

- 注：1. 年間発育量とは、例えば、平成4年度生まれの「5歳時」の年間発育量は、平成11年度調査6歳の者の体位から平成10年度調査5歳の者の体位を引いたものである。
2. 昭和37年度生まれの7歳と8歳の数値は、都道府県集計が行われていないため、全国値による。
3. 下線は最大年間発育量を示す。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）



6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男女とも全年齢で全国値以上の数値となっている。

① 肥満傾向児

男子では、15歳の出現率が18.86%で最も高率となっており、全国値との差では13歳が最も大きく、7.51ポイント上回っている。

女子では、12歳の出現率が13.20%で最も高率となっており、全国値との差では6歳が最も大きく、7.37ポイント上回っている。

② 痩身傾向児

男子では、10歳の出現率が3.82%で最も高率となっており、全国値との差でも10歳が最も大きく、1.46ポイント上回っている。

女子では、12歳の出現率が2.74%で最も高率となっており、全国値との差では14歳が最も大きく、2.34ポイント下回っている。

表7 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

区分		年齢	肥満傾向児						痩身傾向児					
			平成22年度 (青森県)	平成21年度 (青森県)	差	全 国	差	本 県	平成22年度 (青森県)	平成21年度 (青森県)	差	全 国	差	本 県
			A	B	A-B	C	A-C	順位	D	E	D-E	F	D-F	順位
男	幼稚園	5歳	4.11	8.14	-4.03	2.80	1.31	9	0.47	0.09	0.38	0.43	0.04	17
	小学校	6歳	7.76	7.72	0.04	4.46	3.30	4	0.00	0.00	0.00	0.48	-0.48	40
		7歳	7.77	11.15	-3.38	5.62	2.15	10	1.06	0.00	1.06	0.42	0.64	3
		8歳	13.19	14.03	-0.84	7.20	5.99	2	1.32	1.08	0.24	0.95	0.37	7
		9歳	15.12	15.20	-0.08	9.06	6.06	3	1.47	0.85	0.62	1.59	-0.12	24
		10歳	12.55	12.99	-0.44	10.37	2.18	9	3.82	1.55	2.27	2.36	1.46	2
		11歳	15.24	12.26	2.98	11.09	4.15	4	1.96	2.27	-0.31	2.55	-0.59	33
	中学校	12歳	14.86	16.36	-1.50	10.99	3.87	6	1.19	3.08	-1.89	2.30	-1.11	45
		13歳	16.92	14.83	2.09	9.41	7.51	1	1.50	2.04	-0.54	1.53	-0.03	18
		14歳	12.29	13.80	-1.51	9.37	2.92	3	0.85	1.25	-0.40	1.48	-0.63	41
	高等学校	15歳	18.86	22.47	-3.61	12.40	6.46	1	1.66	1.77	-0.11	2.11	-0.45	29
		16歳	18.77	14.98	3.79	11.57	7.20	1	2.48	1.07	1.41	1.91	0.57	8
		17歳	13.95	18.76	-4.81	11.30	2.65	8	1.39	1.40	-0.01	1.67	-0.28	22
女	幼稚園	5歳	3.77	4.86	-1.09	2.83	0.94	15	0.99	0.14	0.85	0.51	0.48	6
	小学校	6歳	11.60	8.99	2.61	4.23	7.37	1	0.42	0.98	-0.56	0.62	-0.20	28
		7歳	8.15	10.56	-2.41	5.13	3.02	4	0.91	0.82	0.09	0.53	0.38	8
		8歳	10.26	13.59	-3.33	6.90	3.36	4	1.27	0.65	0.62	0.93	0.34	12
		9歳	10.26	13.06	-2.80	7.51	2.75	3	1.50	1.37	0.13	1.50	0.00	18
		10歳	12.64	12.02	0.62	8.13	4.51	1	2.44	2.09	0.35	2.61	-0.17	20
		11歳	12.11	10.66	1.45	8.83	3.28	6	2.19	1.50	0.69	3.08	-0.89	35
	中学校	12歳	13.20	13.51	-0.31	8.92	4.28	4	2.74	4.52	-1.78	3.92	-1.18	36
		13歳	10.96	14.41	-3.45	7.96	3.00	4	1.93	2.91	-0.98	3.84	-1.91	44
		14歳	11.07	13.64	-2.57	7.89	3.18	7	0.75	2.62	-1.87	3.09	-2.34	47
	高等学校	15歳	10.56	12.25	-1.69	8.59	1.97	8	1.24	1.88	-0.64	2.37	-1.13	44
		16歳	12.91	13.80	-0.89	7.81	5.10	3	1.32	1.12	0.20	2.40	-1.08	37
		17歳	10.69	8.35	2.34	8.14	2.55	6	2.40	0.71	1.69	1.81	0.59	8

注：1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

B 健康状態

1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯（う歯）」が最も高い。

表8 疾病・異常の被患率等

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
90%以上					
80%以上～90%未満					
70～80				むし歯（う歯）	
60～70		むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者 むし歯（う歯）		
50～60					
40～50	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者			
30～40					
20～30					
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10		歯・口腔のその他の疾病・異常		
	6～8				
	4～6	鼻・副鼻腔疾患 歯列・咬合	耳疾患	歯肉の状態 歯垢の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患 歯垢の状態 歯肉の状態
	2～4	その他の疾病・異常	眼の疾病・異常 歯列・咬合 栄養状態 心電図異常 ぜん息	眼の疾病・異常 耳疾患 歯列・咬合 心電図異常 蛋白検出の者 ぜん息	眼の疾病・異常 歯列・咬合
	1～2	耳疾患 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患 ぜん息	口腔咽喉頭疾患・異常 歯垢の状態 歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 その他の疾病・異常	栄養状態 アトピー性皮膚炎 その他の疾病・異常	栄養状態 アトピー性皮膚炎 心電図異常 蛋白検出の者 その他の疾病・異常
0.1～1	0.5～1	口腔咽喉頭疾患・異常	難聴 蛋白検出の者	難聴 耳疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常 せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常 ぜん息	
	0.1～0.5	歯垢の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常 栄養状態 心臓の疾病・異常 言語障害	せき柱・胸郭異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患	
0.1未満		顎関節	言語障害	言語障害	
該当者なし	蛋白検出の者 寄生虫卵保有者 眼の疾病・異常 顎関節 歯肉の状態 せき柱・胸郭異常 腎臓疾患	結核 寄生虫卵保有者	結核	結核	
非公表	裸眼視力1.0未満の者			裸眼視力1.0未満の者	

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾鼻 ・ 副 鼻 患腔	疾口 患腔 ・咽 喉 異常頭	(む う し 歯)	の蛋 白 検 者出	心電 図異 常	保寄 生虫 有者 卵	ぜ ん 息
幼稚園	平成12年度	44.6	3.5	10.2	9.1	69.6	-	...	-	0.5
	平成18年度	X	3.7	9.8	5.0	68.0	0.4	...	-	-
	平成19年度	X	0.2	1.2	0.7	66.4	0.2	...	-	0.1
	平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	0.6	...	-	1.2
	平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	-	...	-	0.6
	平成22年度	X	2.0	5.5	0.7	49.5	-	...	-	1.8
	全 国	26.4	3.4	3.5	1.9	46.1	1.0	...	0.1	2.8
小学校	平成12年度	39.6	4.1	16.5	2.9	82.4	0.3	0.8	-	0.7
	平成18年度	40.8	5.5	15.2	1.7	76.9	0.5	1.7	0.0	1.3
	平成19年度	40.7	6.0	15.8	1.1	76.8	1.0	1.7	-	1.4
	平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	0.3	1.5	0.0	2.0
	平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	0.6	1.5	0.0	2.4
	平成22年度	42.4	5.1	16.1	1.3	68.8	0.8	2.3	-	2.2
	全 国	29.9	5.4	11.7	1.5	59.6	0.8	2.5	0.3	4.2
中学校	平成12年度	60.6	1.9	9.9	1.0	80.8	1.2	1.5	-	0.6
	平成18年度	61.0	1.8	11.1	0.8	68.0	1.0	1.7	...	1.1
	平成19年度	60.6	1.9	8.1	0.3	65.2	1.8	2.1	...	0.7
	平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.7	1.9	...	1.8
	平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.2	2.1	...	1.0
	平成22年度	65.5	3.1	16.8	0.5	62.5	2.3	2.7	...	2.1
	全 国	52.8	3.6	10.7	0.8	50.6	2.6	3.4	...	3.0
高等学校	平成12年度	68.2	1.4	11.3	0.6	87.8	1.5	0.7	-	0.2
	平成18年度	57.6	1.1	8.1	0.4	75.8	2.8	1.6	...	0.7
	平成19年度	59.8	3.2	X	0.3	72.2	2.1	1.2	...	1.0
	平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	2.4	1.6	...	0.7
	平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	1.7	1.6	...	0.8
	平成22年度	X	0.7	5.2	0.3	70.6	1.7	2.0	...	0.9
	全 国	55.6	1.6	8.5	0.6	60.0	2.8	3.2	...	2.1

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。
 4. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

(1) 鼻・副鼻腔疾患

① 鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、幼稚園、小学校及び中学校の区分で、全国平均を上回っている。

- ・幼稚園では5.5%（全国平均3.5%）
- ・小学校では16.1%（全国平均11.7%）
- ・中学校では16.8%（同10.7%）

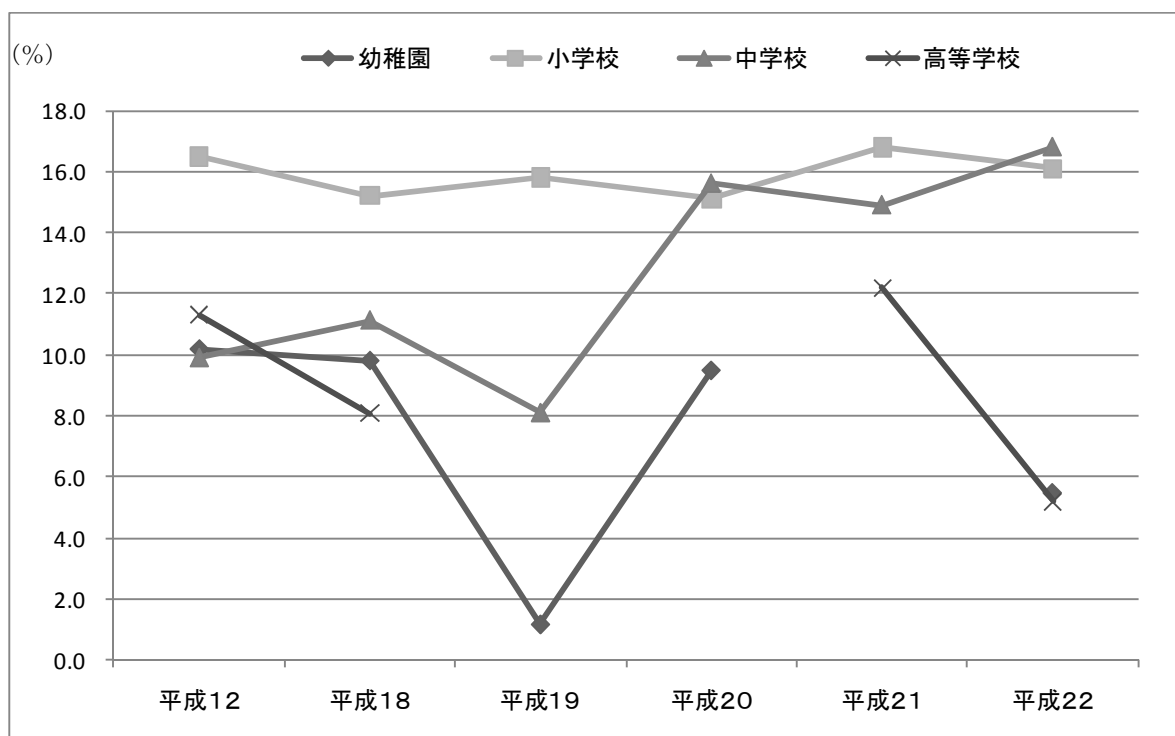
② 10年前と比較すると、中学校の学校区分において、その割合が増加している。

表10 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

(単位:%)

区 分	平成12	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	全国平均 平成22
幼稚園	10.2	9.8	1.2	9.5	X	5.5	3.5
小学校	16.5	15.2	15.8	15.1	16.8	16.1	11.7
中学校	9.9	11.1	8.1	15.6	14.9	16.8	10.7
高等学校	11.3	8.1	X	X	12.2	5.2	8.5

図3 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



(2) むし歯（う歯）

① むし歯の被患率（処置完了者を含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。

- ・幼稚園では49.5%（全国平均46.1%）
- ・小学校では68.8%（同59.6%）
- ・中学校では62.5%（同50.6%）
- ・高等学校では70.6%（同60.0%）

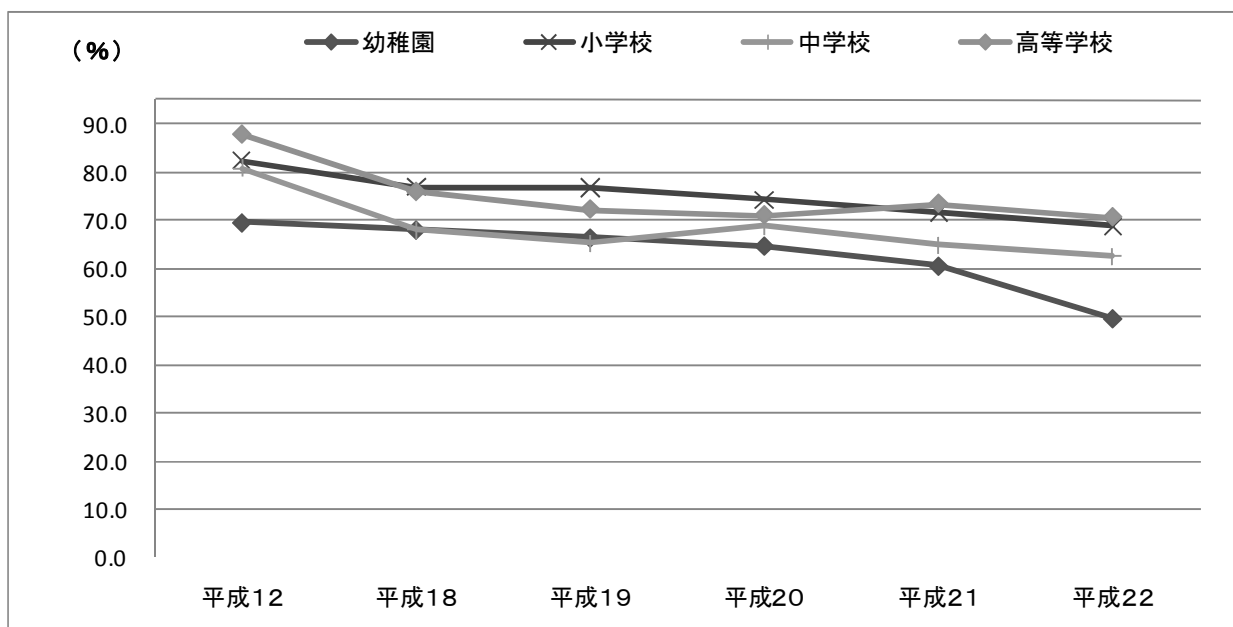
② 10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表11 むし歯（う歯）の被患率の推移

(単位:%)

区 分		平成12	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	全国平均 平成22
幼稚園	計	69.6	68.0	66.4	64.7	60.5	49.5	46.1
	処置完了者	17.8	23.5	23.7	22.5	21.3	17.8	18.4
	未処置歯のある者	51.8	44.5	42.7	42.2	39.2	31.7	27.7
小学校	計	82.4	76.9	76.8	74.3	71.6	68.8	59.6
	処置完了者	34.8	33.0	30.4	30.8	32.1	28.3	29.2
	未処置歯のある者	47.6	43.9	46.4	43.5	39.5	40.4	30.4
中学校	計	80.8	68.0	65.2	68.8	64.9	62.5	50.6
	処置完了者	43.0	37.7	36.2	35.6	35.2	33.5	28.0
	未処置歯のある者	37.7	30.3	29.0	33.2	29.7	29.0	22.6
高等学校	計	87.8	75.8	72.2	71.0	73.4	70.6	60.0
	処置完了者	46.0	38.6	38.7	34.3	37.7	33.1	34.2
	未処置歯のある者	41.8	37.3	33.5	36.7	35.7	37.4	25.7

図4 むし歯（う歯）の被患率の推移



(3) 心電図異常

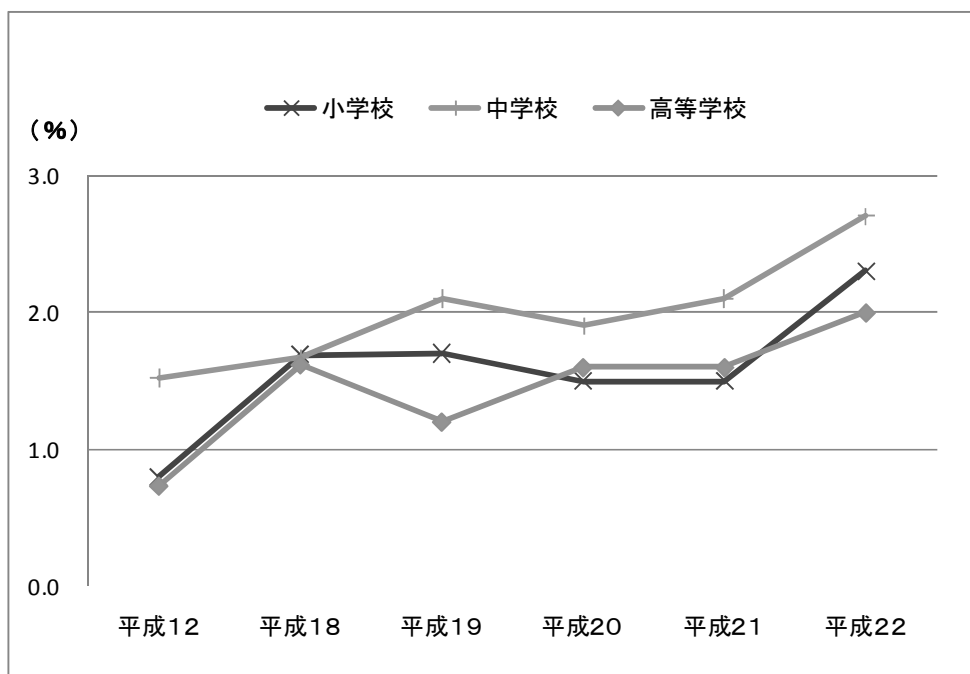
- ① 心電図異常の者の割合は、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても全国平均を下回っている。
- ・小学校では2.3% (全国平均2.5%)
 - ・中学校では2.7% (同3.4%)
 - ・高等学校では2.0% (同3.2%)
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合は増加している。

表 12 心電図異常の者の推移

区 分	平成12	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	(単位:%)	
							全国平均	平成22
小 学 校	0.8	1.7	1.7	1.5	1.5	2.3	2.5	2.5
中 学 校	1.5	1.7	2.1	1.9	2.1	2.7	3.4	3.4
高 等 学 校	0.7	1.6	1.2	1.6	1.6	2.0	3.2	3.2

(注)心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図 5 心電図異常の者の推移



(4) ぜん息

① ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。

- ・幼稚園では1.8% (全国平均2.8%)
- ・小学校では2.2% (同4.2%)
- ・中学校では2.1% (同3.0%)
- ・高等学校では0.9% (同2.1%)

② 10年前と比較すると、全ての学校区分において、その割合は増加している。

表13 ぜん息の者の推移

(単位:%)

区分	平成12	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	全国平均 平成22
幼稚園	0.5	-	0.1	1.2	0.6	1.8	2.8
小学校	0.7	1.3	1.4	2.0	2.4	2.2	4.2
中学校	0.6	1.1	0.7	1.8	1.0	2.1	3.0
高等学校	0.2	0.7	1.0	0.7	0.8	0.9	2.1

図6 ぜん息の者の推移

